

平成23年7月31日

関係者各位

新潟県ボート協会
理事長 坂上英行

豪雨に伴う阿賀町（艇庫）の状況速報

今般の、豪雨被害について現在仄聞していることをお知らせします。電話での聞き取りのため、未確認のところもあり現状を正確に表現できているかは定かではありませんが、当面、阿賀町でのボートは活動できないことは明白です。

当協会としても、県、阿賀町他関係者との連絡をとりながら一日も早い復旧のために努力しなければいけません。

- 1．水位は県艇庫のシャッターの半分（ほぼ1階事務室の窓の三分の2）まで上がった。艇庫前の電柱はなくなった。B&G前の発艇台もながれた。
 - 2．県艇庫のシャッター壊れてアームの三段目(180CM)までにおいてあったレース艇は、全滅もしくは、どこかに流出した。（協会所有エンパも1X以外使用不能）オールの状態は不明。
 - 3．アームに残っている艇の中にも、流木等が当たって修復不能のもの多数あり。
 - 4．艇庫の中は、腰の辺りまで泥がたまっていて、中まで入れない状況で、泥のかき出しから行わないといけない。（重機が必要）
 - 5．7月31日に水位が下がり艇庫に入れたので、復旧作業を始めた。メンバーは、阿賀町役場（石田一美課長補佐他）職員、阿賀町体育協会、ボート部OB、父母会、ボート部員教員ほか。（12時間作業しても泥はシャッターひとつ分の運び出しがやっとであった。まだ、艇庫の奥まで入れない。）
 - 6．阿賀黎明高校の学校長、教頭も現状を確認した。
 - 7．県は、8月1日に現状確認に来るとの連絡あり。
 - 8．町艇庫も一階部分は全損。下においてあったナックルフォアは使い物にならない。
 - 9．棧橋は、県艇庫、町艇庫、モーター棧橋ともに、跡形もなくなった。使用不能の状態。
 - 10．陸に揚げていたモーターボートは、大丈夫のようだ。（エンジンがかかるかは不明）
 - 11．B&Gのあたりはやや高い場所であったため、シャッター破損しているが影響は少ないようである。
 - 12．国道49号線は本尊岩付近が陥没のため、通行止め。
 - 13．木村審判長の住宅（吉津）は床上浸水。田んぼも水没して泥でだめになった。
 - 14．石間（ジパング）の付近は駐車場を水位が越えたため、セブンイレブンの奥の部落は床上浸水。
 - 15．OB曰く「38豪雨のときよりもひどい状態。」
- 関係者の人的被害はありません。以上取り急ぎ、速報として。